



2025年度

Peach Women's Business School

第15回

「成果発表会・修了式」



※ アンケートは受講者の回答をそのまま転記しております

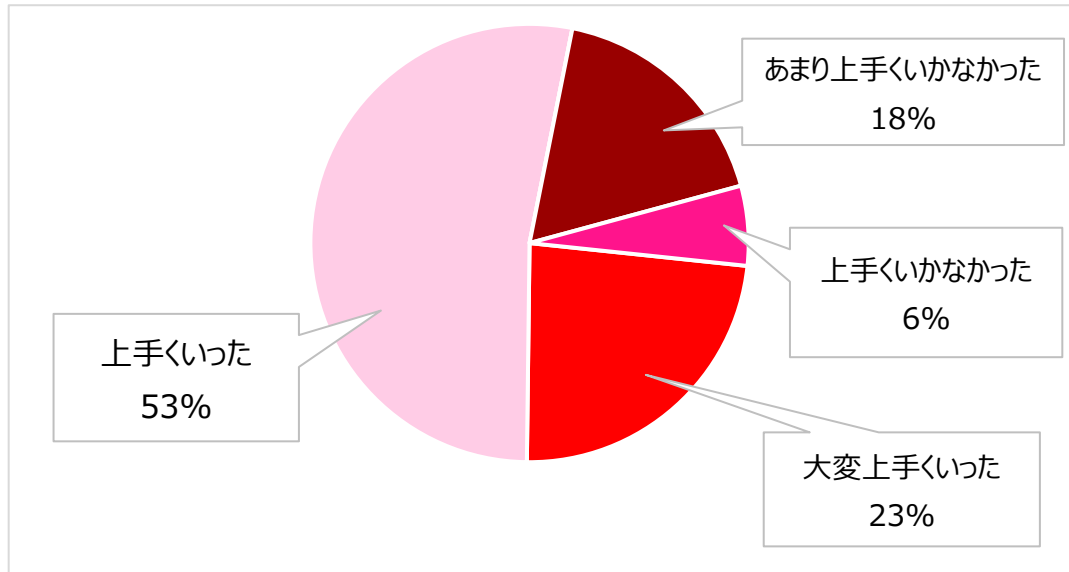
2025年度PWBS 第15回アンケート集計結果

研修日：2026年3月19日(木)

講演テーマ：成果発表会・修了式

「グローバル社会における日本の働き方を考える」

(1)成果発表会は上手いきましたか。



その理由をお聞かせください。

自身の発表は100%ではなかったが、チームとして準備してきたことは伝えられたと思います。プレゼンテーションの講義での「プレゼンには自分自身の考えを入れるべき」というアドバイスをもとに、チームでなぜそのように考えたか、どう自分事として捉えているかを発表で伝えるようにしたところ、講師のフィードバックで心に残ったと触れていただけ、今後も意識しようと思いました。

各メンバーが通常業務に忙しいなか、業務時間や休日を割いて、発表準備・打合せ、練習を行うことができ無事に納得のいく形で発表できたからです。その一方で入賞はできなかったのもう少し内容を煮詰めたり、原稿を読まずに発表できたのではないかと反省も残りました。

限られた準備期間の中で、意見を出し合いテーマを決め、カンペなしでの発表を目指して資料構成などを考え準備するなど、チームの全員が協力し合い取り組むことができたため。

チーム内で意見をまとめる過程では何度も試行錯誤を重ねましたが、最終的には納得のいく発表資料を作成することができました。また、事前に繰り返し練習を行っていたため、発表中に多少のハプニングはあったものの、緊張しながらも概ねスムーズに発表することができ、その結果、賞を受賞することができました。

【良かった点】自分たちが考えてきたことをきちんと伝えることはできたと感じたため。

【反省点】時間がオーバーしてしまったこと。自分たちとしては限界まで削ったので、あとどこが過剰だったのか、ご意見を伺いたかったです。

成果発表会では、数か月間取り組んできた議論や発表準備の集大成として持っている力を存分に発揮することができたと考えています。結果として3位に入賞することもでき、大変意義のある発表会となりました。その一方で、他社のメンバーと一緒に議論や発表準備を行うことは、非常に難易度が高かったと感じます。それぞれの企業で、就業規則や働く環境、多様性の受容度の違いがあり、それを乗り越えて深掘した議論をしていくことの難しさを感じました。裏を返せば、いかに私たちが普段企業という同一文化の中に馴染み、既成概念に囚われて仕事をしているかに気付かされました。

当日は、緊張もあり、PowerPointの操作で手間取ってしまい、発表の進行が思うようになかったのが大きな反省です。また、成果発表のテーマに対する提案ももう少し踏み込んだ内容にすべきだったと振り返っています。

今まで準備してきたことや練習した成果が出せたと思うから。講評ではいろいろな立場の方の意見を伺うことができ、世代や性別、立場で感じるところが全く違うのだと改めて実感しました。

優勝という結果も相まってやり切った達成感がありました。発表テーマが非常に大局的なもので、チームで方向性を定めるには苦労しましたが、「学び」という軸が定まってからは、チームメンバーでいろいろな視点から議論を繰り返すことで、内容を深めていくことができました。また、念入りに発表に向けて時間をかけて準備することで、メンバー全員で自信をもって発表することができ、自分たちの予想を上回る結果につながったと思います。

第一に、台本を見ずに発表したことです。
他チームの多くが台本を見ながら発表する中、この違いが明確な差別化要因となったと思います。
第二に、「サヨナラ宣言」などインパクトのあるキーメッセージを使用したことです。
印象に残るフレーズにより、提案内容が記憶に残りやすくなりました。
これらが、準優勝という評価につながったと考えております。

チームメンバーと十分な事前準備の時間を確保し、認識をすり合わせながら完成度を高めることができた点にあると考えています。また、ロジカルシンキングやプレゼンテーションなど、研修で得た学びを実際の発表に活かすことができたことも、大きな要因であったと感じています。

成果発表会において受賞には至らず、評価を得ることができなかった点は残念に感じています。ただ、チームのメンバーと議論を重ねながら内容を検討し、資料作成から発表までやり遂げることができた点は、大きな成果であったと考えています。ここまでやり遂げることができたのは、メンバー一人ひとりの支えがあったからこそであり、深く感謝しています。一方で、自身の発表においては緊張から頭が真っ白になり、原稿に頼ってしまった点が反省点です。しかし、メンバーと協力しながら一つの成果を作り上げた経験は非常に貴重であり、今後活かしていきたいと考えています。

10分という限られた時間内で要点を整理し、発表することができ、伝える力の重要性を改めて実感しました。一方で、具体的な対応策まで示せるとより良かったとのご意見もあり、課題提起だけでなく、現場で実行可能なレベルまで落とし込むことが今後の課題だと感じています。

具体性のある発表ができた。

サブタイトル通りの資料を作成する事が出来たがもう少し内容を深掘し説得力のあるものにするべきだった（協調性に欠けていた）。時間配分もうまくいったがもう少し準備に時間をかけ暗記し発表に臨めたらよかった。

チームでの練習の成果が十分に発揮できたと思います。

プレゼンの仕方は、単なる説明だけでなく、もう少し個性やアレンジをした方が良かったと他グループを見て感じました。また、立ち位置の打合せも不十分だったと思います。内容については、切り口はよかったのではないかと思います。ただ10分の中でもっと具体的でオリジナルな対策まで考えきれなかったことは反省点として感じています。

リハーサルではマイクを使用する前提で練習していなかったため、本番では原稿を手を持ちながら話す必要が生じ、さらにポインター操作も重なってしまいました。その結果、動作が増えたことで予想以上に慌ててしまい、スムーズに進行できませんでした。また、焦りによって話すペースが乱れ、発表時間を大幅に超過する要因となりました。

今回うまくいかなかった主な要因は、以下の2点だと考えています。

- ・本番環境（マイク使用）を想定したリハーサルができていなかったこと
- ・自分たちが設定した準備レベルの基準が十分ではなかったこと（原稿を見ずに話せる目標設定はしなかった）

今後は、人前で話す機会に向けて、本番環境を可能な限り再現したリハーサルの実施や、発表内容を自分の言葉で話せるレベルまで習熟するなど、準備段階での改善に努めてまいります。

プレゼンの研修で、プレゼンは事前準備が8割であり、文章を読むのではなく相手のほうを見て話をするようにと習いましたので、成果発表の場で習ったことは実行出来たかなと思っています。また、発表資料の内容についても、これまで研修で習ったことをベースに、チームで認識のレベル合わせをしながら、各々の意見を落とし込んで作成出来たと思っています。

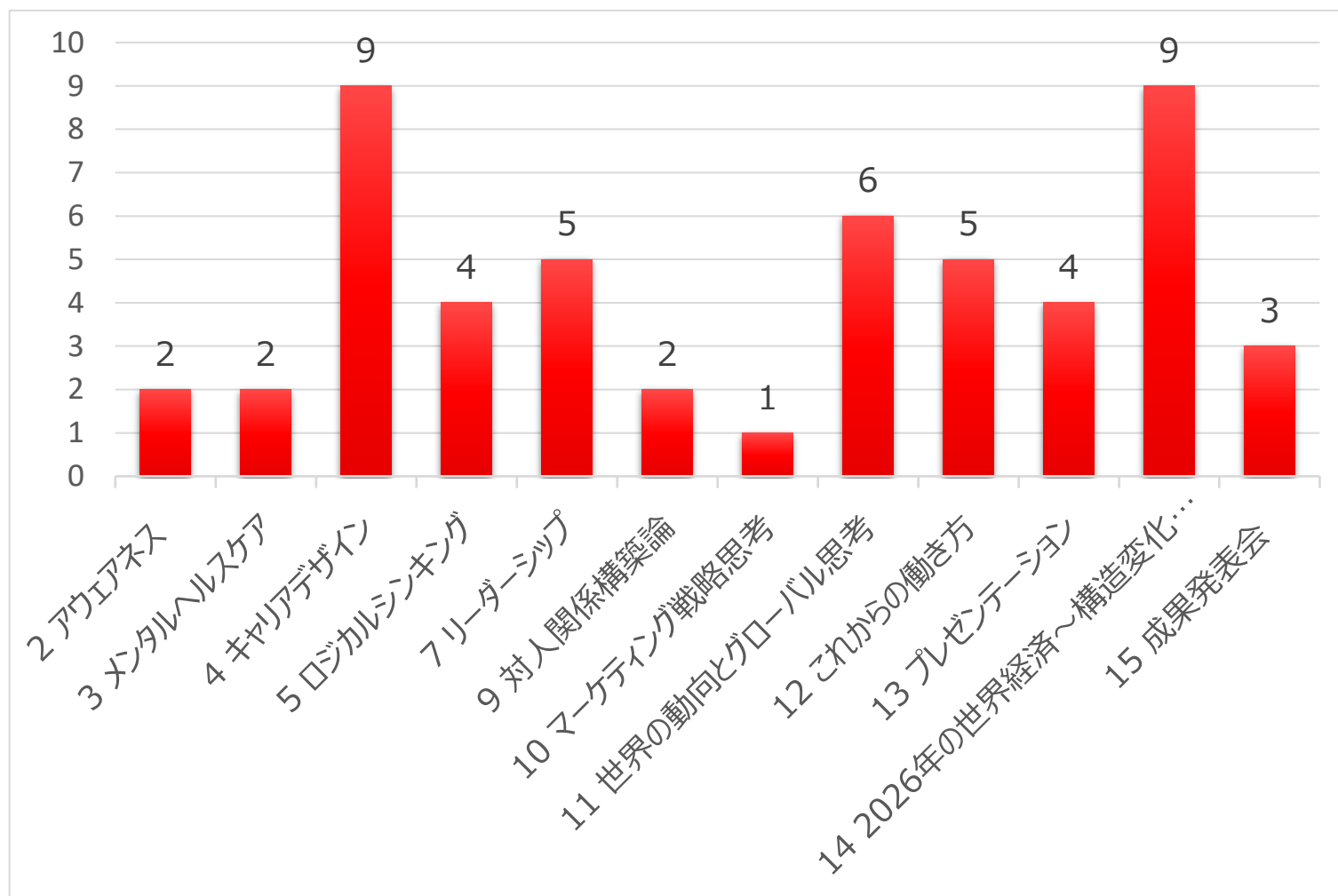
幅広いテーマから、内容の網羅を重視するあまり、各論点に関する深掘りや分析の優先順位付けが十分ではなかったと感じています。重点的に考察すべき点と簡潔に整理する点を明確にして、内容にメリハリを持たせる工夫が必要と感じました。その為、説得力に少し欠ける部分が生じたと考えています。

加えて、発表時間内に内容を収めることができず、時間配分にも課題が残りました。

講義内の「プレゼンテーション」で学んだ、“間”の取り方や話すスピードについても、事前に意識はしていたものの、もう少しといったところでした。シナリオや資料構成にももう少し工夫が必要だったと感じています。

テーマ選定から何度もチームメンバーと打合せを重ねたことで議論を深るとともに、打合せのたびに投影資料や原稿をブラッシュアップし、発表会前には念入りの発表準備をできたことで、自信をもって発表することができたため。

(2)-1 PWBS全研修の中で特に勉強になった、役に立った研修はどれですか。3つまでお選びください。



(2)-2 上記で選んだ研修を通して学んだことを今後どのように活かしたいですか。

各チームが自分にはなかった視点で成果発表のテーマを掘り下げていてとても学びになりました。同時に、今回考えたことを自分の中で閉じずに、今後まずは自分の周りから広げていかないと強くなりました。

アウェアネスやリーダーシップの講義で学んだことを自身の行動や在り方に落とし込み、視座を高く、自分に合ったリーダーシップを発揮して、小さい範囲からでも物事を良い方向へ変えていける人になりたいと思いました。

説得力のある主張を組み立てることで、意思表示やコミュニケーションを取っていきたくです。また、世の中の変化に対応して自分のキャリアを切り拓いていこうと思います。

個人の得手不得手を理解し補完し合う、また、互いの意見の落としどころを探しながら議論ができる心理的安全性が担保された職場環境・仕事環境を率先して整えていくことで、今後の業務のチーム作り等に活かしていきたい。

仕事と育児に追われる日々の中で、自身の視野が狭くなっていたと感じていましたが、研修を通じて、現在の社会状況や今後の動向について多角的に学ぶことができました。その結果、今後自分がどのように働いていきたいのかを改めて考える良いきっかけとなりました。まずは、毎日日記を書くことや時間の主導権を意識することなど、身近なところから少しずつ取り組んでいきたいと考えています。

「⑩世界の動向とグローバル思考」で教えてくださった、「世界を距離で読むということ」「時間スケールの考え方」が一番印象に残っています。日々の生活に追われる中で、世界の全てを把握するのはとてもできませんが、この視点を意識して世界の出来事を認識していきたいと思っています。

講師の先生方の多くが、2025年は変革の時代へのまさにターニングポイントであると認識されていました。これからの不確実な時代に自分自身をセルフマネジメントしていく必要性、そして企業として環境を整備していく必要性を感じました。私自身が、「自分事」として、研修で得られた学びは、大きく分けての4つです。

1つ目は、【視座を高く】

「細かいことにとらわれず、高い志を持ち、将来を俯瞰して物事を考える」ことの大切さやそのために「常にアンテナを高く張り情報の収集を行うこと」が欠かせないと気づくことができました。

2つ目は、【心身の健康維持】

一見当たり前のことのように聞こえますが、多くの講師の先生方が大切なこととして挙げておられました。

3つ目、【毎日30分の学び】です。忙しい毎日で少しの隙間時間を活用し、学び続けることで、情報をアップデートしていくことの大切さを多くの先生方が述べられていました。また、心身の健康維持と学びについては、共通してハードルを低くし継続することが重要であるとお話も納得させられるとともに、石川先生の毎日日記を書くこと成長するというお話も大変印象的でした。

そして4つ目が【『個人的』なことは、すべて『社会的』なこと】です。個人的なこと、1事象に過ぎない事であるかのように思ってしまう自己責任で片づけてしまいがちなことも実は、多くの場合は、環境などに起因するという。自責にとどめず、あえて他責をして「社会の問題解決に向かうべきだ」という講義内容が最も心に刺さった学びの一つです。自分や隣にいる職員に起きていることは、実は一人一人の個人的事情ではなく、会社の問題であり、社会全体の問題であると考えられます。自分自身、長年従事している人事業務への考え方が変わり、会社にととまらず「社会課題の解決を行う」という重要な仕事であると責任感とやりがいを感じました。

多岐にわたるテーマでご講義をいただきましたが、どの講義でも、前提には世界のことに目を向け、今後のトレンドを考え、私たちにどう影響があるのか、どうしていくのがよいかという視点があったと私自身整理をしました。それが集約されていたのが、第14回のご講義であったと考えています。

また、成果発表に向けたグループ内での議論を通じて、一人ひとりの働き方、仕事への思い、価値観などを知り、改めて自分らしい働き方・今後、どういふふうに働いていきたいかということを考えるきっかけになりました。今回、研修に参加することで物理的・強制的に日々の業務から離れ、目の前の業務やらなければならないことにばかりとらわれている自分に気が付きました。もっと色々なことにアンテナを張り、公私ともに充実をさせ、生き生きとした生活を送りたいと思います。

業務の効率化等、何か物事を改善しようとする場面で、目的を持つこと、誰に対するメリットを考えるべきかを考えることを忘れずに実施しようと思いました。

⑩と⑭：世界情勢や経済動向をどのような視点で見るべきかを学び、とても勉強になりました。自身の視野の狭さを痛感し、様々な情報を適切にキャッチアップし、それらを踏まえて自身の仕事やプライベートに向き合う必要があると感じました。なかなか情報を得ることを習慣化できていないので、まずは新聞を読むこと、本を読むことを習慣にしたいと思います。

⑮：業務として採用活動に従事しているため、すぐにでも活用したい学びや発見がたくさんありました。自分がプレゼンをする様子を客観的に見る機会は非常に貴重で、改善点やクセを明確に把握することができました。今後の業務(プレゼン)の中で、意識して改善していきたいです。

研修を通じて学んだことを、日々の実務や意思決定の場面で総合的に活かしていきたいと考えています。

まずは、グローバルな視点で課題をとらえ、チームメンバーの強みを引き出しながら協働して解決策を実行し、その成果を効果的に発信していくことを心がけます。

今回の研修を通して、世界経済は地政学リスクやインフレ動向、技術革新など複数の要因が複雑に絡み合いながら大きく変化していることを学びました。これまでニュースとして断片的に捉えていた情報が、構造的な視点で理解できるようになったことが大きな学びです。今後は、日々の業務においてもこうしたマクロの視点を意識し、自社や自分の担当業務がどのような外部環境の影響を受けているのかを考えながら行動していきたいと考えています。また、変化の兆しを早期に捉え、柔軟に対応できるよう継続的に情報収集と学習を行い、自ら価値を生み出せる人財を目指していきたいです。

価値観の多様化が進む中で、自分自身だけでなく、相手やこれまで関わりのなかった人々にも思いを巡らせて一人ひとりを大切にする姿勢を常に意識していきたいと強く感じました。そのうえで、自分に何ができるのか、何を提供できるのかを主体的に考え、積極的に役割を果たしていきたいと考えています。

知識やスキルそのものだけでなく、係長として「自分がどう判断し、どう周囲に働きかけるか」という視点の重要性を学びました。各研修で得た考え方を、個々の業務改善にとどめるのではなく、チーム全体の方向性や優先順位を整理し、メンバーが動きやすい環境を整えることに活かしていきたいと考えています。また、課題を把握するだけでなく、「何を・誰が・どのように進めるのか」まで落とし込んで示すことが、現場を前に進める役割であると改めて認識しました。今後は、広い視点で状況を捉えつつ、現場に即した実行可能な判断と支援を行い、チームとして成果を出せるよう貢献していきたいです。

変化の時代における主体性とグローバル
視点を持ち、自身のキャリアや業務での意思決定に活かしていきたい。

すべての研修を通し土台→武器→実践の3つの階層を学ぶことが出来ました。AIによる自動化や経済の再加速（リバウンド）により、変化のスピードがさらに増しています。人手不足が深刻化する中、「標準化」による属人化の排除と生産性向上、「誰でも回せる現場」の構築をしなければなりません。今、目の前にある真因を特定しコストとしてのインパクトを可視化し荷主を「顧客」としてだけでなく「パートナー」として捉え、戦略的に交渉し心因について双方で向き合いコストの長期安定につながる3方よしのストーリーを構築していけたらと考えます。又、アウェアネス（自己認識）を高め自分の指示が現場にどう響いているのか客観視し心理的安全性を築いていきたいです。

リーダーシップ研修では様々なリーダーシップ像があることを学びました。自分の考え方や特徴にあったリーダーを思い描き、それを目指してこうと思います。グローバル思考や世界経済の研修では、世界という視点を持つことの重要性や速いスピードで変化していくことを学びました。広い視野と高い視座で情報を捉え、予測しながら変化に対応していくことを実践できるようにしたいです。

約1年前の入学時と比べ、今の私は世界を全く異なる解像度で見つめています。全講義を通じて痛感したのは、現代の変化のスピードは、私たちの想像を遥かに超えて加速しているということです。特に、国際情勢の激変や新しい時代のリーダーシップを学んだことで、私自身の「変化に対する姿勢」が根本から変わりました。以前は安定を求めていた部分もありましたが、今は、「現状維持は後退である」という強い危機感を、自分を動かすポジティブな原動力に変えることができている。これからは仕事という枠組みを越え、様々なテーマに知的好奇心を持ち、実践を伴う学びを継続していこうと思います。

3つの研修から、これからの働き方には「心身のコンディションを整えること」「人にしかできない価値を高めること」「社会の変化を捉え柔軟に行動すること」が不可欠だと感じました。メンタル面では、思考や感情の扱い方が行動の質に直結することを学び、日々の業務でも冷静さを保つための習慣づくりに取り組みたいと考えています。また、AI活用が進むなかで、人の感性や対話力がより重要になるという視点で、“感性を磨く”ということの重要性を学びました。さらに、環境変化の大きい時代においては、タイミングを見極め主体的に動く姿勢が成果に影響することを理解しました。今後は、心・感性・行動をバランスよく整えながら、変化に前向きに対応していきたいと思っています。

メンタルヘルスの研修では、個別で人間関係について質問したときに沖永先生に答えていただいた内容がとても心に残っています。もし今後人間関係で悩むことがあったときはいただいた言葉を思い出し、考え方を処理していこうと思いました。

キャリアデザインでは、これまでキャリアは仕事の中でのみ形作られるものだと思っていましたが、研修の中で、キャリアとは、様々な役割を果たす過程で役割の価値や関係を見出していく重なりや積み重ねであると伺いました。今後自分が果たす役割と自己成長へのアプローチを考えていきたいと思っています。

リーダーシップでは、例えば自身が今までの上司を同じようなリーダーシップを振るまえないという悩みの解決の助けとなりました。研修で学んだことから、自分に合うリーダーの形を考えて実行していきたいと思っています。

どの講義も勉強になりましたが、上記3点を選びました。

日常生活や業務において、深く意識せずとも進めていくことはできますが、

自分の人生の質を高めるためにも、「気づき」を持つことで物事の捉え方や行動の質が大きく変わると感じました。

好きなことを見つけて極めたり、成功体験を増やして自己肯定感を高めたりなど、身近なところから取り組むことで価値観を整えていきたいです。ロジカルシンキングでは、経験や感覚に頼った判断が多かった自身の傾向に気づきました。今後は、相手の立場を踏まえながら論理的に考えることを意識し、身近なところだとメールや会話において具体的で分かりやすい表現を心がけることで、業務の効率化や説得力の向上につなげていきたいと考えています。

さらにリーダーシップの観点では、周囲の変化に気づき、相手に寄り添った関わりを積み重ねることで信頼関係の構築に繋がってきたいです。

キャリアについて深く考えることはあまりなかったのですが、15年スケールで人生を考えるという話を聞いた際に、今までの振り返りと今後どういった立ち位置で仕事をしていくのかということに改めて考える機会となりました。変化のスピードが速い昨今、15年先は全く読めないもののためには色々な分野に興味を持ち、常に情報を収集し続ける姿勢が大事だと思いました。また、今まで培ってきた経験や知識を用い、周囲を巻き込みながら、私らしいリーダーシップを体現していきたいと思っています。

(3)ご感想・ご意見があれば、お聞かせください。

成果発表でまだまだ考え抜けていないというフィードバックもいただきましたが、本当にそのとおりで、講義のテーマも継続して考えていくべきものばかりでした。チームの皆さんとの繋がりができたことも財産になりました。

始まる前は長いと思っていましたが、終わってみるとあっという間の研修期間でした。様々なテーマの講義を受けることができ、内容の濃い1年となりました。明確なキャリアプランがなく漠然と日々を過ごしていましたが、今回の研修が自分を見つめ直し、今後を考えるきっかけとなりました。最後となりましたが、このような機会を作ってくださった講師の先生方、事務局の皆様、本当にありがとうございました。

多岐の分野にわたる講義や、様々な業種の方々の「個人の意見」をお伺いすることができる稀有な機会を設けて頂き、大変勉強になりました。心より感謝申し上げます。

一年間ありがとうございました。開校式で「視座を高く」という言葉を伺いましたが、当初は研修内容が具体的にイメージできず、その意味を自分事として捉えきれませんでした。しかし、一年間の講義を通じて、先生方や他の参加者の皆さんから多方面にわたる刺激を受ける中で、その言葉の意味を実感をもって理解することができました。今後は、まず自分自身を見つめ直し、自分が目指したい姿に向かって努力していきたいと考えています。

成果発表会はとても楽しかったですが、発表を客観的に見ていただいた結果として、良かった点、悪かった点の評価をもう少しきちんと知りたかったです。全体的な感想として、異業種の方と知り合うことができ、また、普段考える余裕のなかった視点で物事を勉強することができ、有意義な時間でした。ありがとうございました。

多岐にわたる分野の講師や他社の受講生の皆さんと出会い、高い視点や様々の考え方に触れる機会をいただけたことで、広い視野を持ち、価値観を整えることができました。PWBSを受講した一年は、会社や仕事の枠組みにとどまらず、自律して自らの人生を考え、生きるきっかけとなりました。本当にありがとうございました。

日常の業務から離れ、いつもと違った観点で様々なテーマでグループワークをしたこと、これまで馴染みのなかったテーマを学んだこと、業務で使いそうな手法を改めて体系的に学んだことは、これからの会社生活の中で、必ずプラスに働いていくと考えています。1年間、貴重な経験をさせていただきありがとうございました。今回の研修をスタートに、活躍できる人材になれるよう、業務に励んでいきます。

1年間を通して、多くの専門家の方の講義を受講することができ、今までの視点とは違ったものを知ることができました。また、グループワークでは多くの人と意見交換をすることで視野が広がったように感じます。働く女性が一度に集まる機会もめったにないので、せっかくできたコミュニティーを大切にしたいと思います。多くの機会や経験をさせていただきありがとうございます。

1年間、貴重な学びの機会をいただき、ありがとうございました。事務局の皆様には丁寧にサポートいただき、心から感謝申し上げます。最後の挨拶でも申し上げた通りですが、本研修で得た学びは自身にとって非常に有意義で刺激的なものでした。研修を受講し終えた達成感がある今のうちに、学ぶことを習慣化し、今後の自身の成長につなげていきたいと思っております。本当にありがとうございました。

1年間大変お世話になりました。

多様なバックグラウンドを持つ受講生の皆さんとの交流を通じて、自分にはなかった視点や考え方に触れることができ、大変刺激的な学びの場となりました。

また、実践的なカリキュラムにより、すぐに実務で活かせる知識やスキルを習得できたことに感謝しています。

今後のキャリアにおいて貴重な財産となる研修でした。

社外の方々との交流やディスカッションを通じて、多様な価値観や考え方に触れることができた点も大きな収穫でした。また、講師の皆様や本研修を企画・運営していただいた主催者の皆様に心より感謝申し上げます。

これまで異業種の方々との勉強会に参加する機会がなかったため、振る舞い方などに戸惑いがありました。しかし、思い切って参加させていただいたことで多くの気づきと刺激を得ることができ、大変有意義な経験となりました。

全15回のカリキュラムを通して、今後の自分の人生において大切にしていきたい言葉や学びを数多く得ることができました。講師の先生方へ個別に感謝をお伝えする機会がありませんでしたが、この場をお借りして心より御礼申し上げます。

普段の業務では関わることのない異業種の方々との交流する機会を得ることができ、自分自身の物事の捉え方や考え方に大きな変化がありました。立場や業界が違うからこそその視点や価値観に触れることで、自社や自部門の考え方を客観的に見直すきっかけとなり、非常に有意義な経験だったと感じています。

松田社長の送辞での「社内に味方をつくる」という話が印象的だった。

この視点を意識して社内でのコミュニケーションを大切にしたいと思う。

1年間ありがとうございました。

PeachWoman'sBusinessSchoolを受講し最初は不安などいろんな葛藤がありましたが普段学べない事をたくさん学ぶことが出来ました。これからキャリアデザインを構築する上で一年間を振り返りながら【アンテナを高く】【視座を高く】【志を高く】意識し異業種の方との交流から学んだことを活かしていきたいと思います。

キャリアの近い人たちと約1年間研修をともにし、同じように認識している問題もあれば、自分にはない視点、価値観を持っている人もいて、多様性の富んだ環境で学んだり考えたりすることができる非常に有意義な時間となりました。また様々な経験や知見を持つ講師の方々の研修も受けることができ、自分が見ている視野が非常に狭いことに気づかされました。研修を通して、広い視野で日本を含めた世界を見る必要があること、変化を捉え対応する必要があること、そして自分が思っている以上に時間は早く過ぎることを知りました。本研修で学んだことを、自身の働き方や考え方に活かしていきたいと思います。

特にありません。

14回の研修に出席し、毎回異なるテーマに触れることができ、有意義な時間となりました。これまで落ち着いて学ぶ機会のなかった分野についても、体系的に知識を深めることができ、大変貴重な時間となりました。また、最終回の成果発表に向けては、業種・年齢・経験の異なる3名でチームを組み、東京勤務のメンバーともオンラインを活用しながら成果物を作成しました。立場の違う3人で意見を交わすことで、自分にはない視点や考え方に多く触れられ、視点が広がりました。研修内容だけでなく、仲間との協働を通じて得られた気づきや刺激も含め、今後の仕事やキャリアに活かしたいと思います。

初回のアウェアネスというテーマから始まった研修ですが、テーマの通り研修を通して気づきの連続だったと思います。いままでどのように取り掛かったらいいのか、わからなかったことに対して、今回の研修を通し、より深く考えるきっかけになったと思います。

今回の研修で学んだことを、今後活かして業務に励んでいきたいと思っています。

1年間ありがとうございました。

業種 특성上、他業界・他業種の方と関わる機会が少ない中で、本研修の参加できたことは大変有意義でした。

研修を通じて、講義内容はもちろんですが、受講生同士で悩みを共有し、意見交換を行う中で、自分では気づくことができなかった多様な視点に触れることができました。刺激をいただきました。また、自分の考え方や行動を見つめなおす機会にもなり、改めて自身の課題や強みを認識することができました。

今後は、本研修で得た学びや気づきを日々の業務に反映させ、将来的に組織運営や後輩ができた際には人材育成に役立てていきたいと考えています。

講義では、さまざまな分野をのぞき見させていただくような感覚でした。自身の業務に関する分野以外の内容に触れることで、世界動向やマーケティングなど、自身にはあまり関係がないと思っていた内容も密接に関わっていることを再認識するとともに、興味を持った分野に関してはより深く知ろうという意識を芽生えさせていただきました。何よりも色々な業界で、活躍されているメンバーと話すことで、新たな気づきを与えていただきました。1年間ありがとうございました。